

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター
住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1
愛知県東大手庁舎 1階
TEL：052-954-6722
FAX：052-954-6993
開館：月～金 10～17時



ふるさと交流会 in 東三河 さつまいも収穫祭

10月28日(日)、楽しみにしていたお芋掘りがありました。天気は雨予報でしたが、掘っている間は雨も降らず、掘ることができました。

私は震災前は保育士の仕事をしていて、毎年お芋掘りをしていたので、今回子ども達と一緒に夢中でやってしまいました。

子ども達も一生懸命力を入れ、「せーの」のかけ声で抜き、たくさんお芋が付いているのを見て、「スゴイ！ いっぱいだよ！」って、大喜びでした。

お芋を掘り終り、次の場所へ移動。その間、段々雨が降ってきました。

現地に着き、皆で手わけをしてさつま芋汁を作りました。焼き芋を作るのに、一本いっぽん新聞紙とアルミホイルで包んだのですが、娘達も楽しそうに巻いていました。料理ができあがり、皆で楽しく会話をしながら過ごしました。

雨は段々強くなっていったのですが、皆の会話は雨に負けないくらい弾んで、楽しい時間を過ごすことができました。

愛知県被災者支援センターの方々、コープあいちの方々、消防の方、豊橋工業高校の先生と生徒達、畑を提供してくださった方、本当に私達のためにありがとうございました。心から感謝の気持ちでいっぱいです。

震災から1年と8ヶ月です。まだまだ落ち着かない日々ですが、こうして新しい出会いがあるんだなあと、思いました。

いろいろな人の笑顔を見ていると、幸せな気持ちになります。

雨の中本当にお疲れ様でした。また皆さんと楽しく過ごせることを楽しみに、また来年もお芋掘りがあると良いなと思いました。

(横田 重代 豊橋市在住)



大震災から「気になっている」こと、被災して「気がついたこと」に参加して

「地域の大人（子育て中の親を中心に）、子どもたちが未来に希望を持てる社会、持続可能な社会や環境とはどうあることか、自分たちができることを見つけるための対話の場です。今の社会で起きていることや課題に向き合い、自ら考え、意見を交わし、子どもたちとも一緒に考えていける投げかけをして」いくことを目的に、「地域のエコ・コミュニケーション力を高めよう！ ～子どもの未来に向けて語り合う～」という講座を「特定非営利活動法人 こども NPO」が企画・運営しています。

その第 1 回が 2012 年 10 月 23 日（火）に、『大震災から「気になっている」こと、被災して「気がついたこと』と題して、「震災があってこのままではいけないなと思ったことを出し合い、名古屋のお母さんと福島から避難してきたお母さんとの対話する」講座が開かれました。

愛知県被災者支援センターの瀧川さんのよく言っている「話してほしい」、その言葉が強く胸に残っていたのがきっかけで、地域の方々との対談に参加することを決めました。

母子の私は震災を経験してから「弱音は吐かない」と決めた手前、行き場のない気持ちがいっつも胸の奥にありました。自分の経験した事を話す前は、震災を体験していない方に対して「分かって欲しい」という気持ちが強かったけれど、実際話をしている最中は、「伝えたい」そういう気持ちでいっぱいでした。話しをしているう

ちに、どんどん気持ちが溢れてきて、人前でこんなに話しができる自分に驚きました。

震災と原発事故は、とてもとても辛く悲しいことでした。でもそれを経験した私たちだからこその事もあるんだ、と思いました。

「話すこと」は、私にもできました。

みんなにも、話して伝える機会があればぜひ参加してみしてほしいと思います。人と繋がることは、とても温かいです。

（半澤 寛子 緑区在住）

浪江町交流会

福島県の浪江町にある、「特定非営利活動法人 まちづくり NPO 新町なみえ」から、「浪江町から避難されている方の交流会を愛知で行いたい」と連絡があり、愛知県被災者支援センターとしても協力させていただき、開催されました。

11 月 10 日、名古屋市栄の東急ホテルで、浪江町の交流会が開かれました。浪江町商店街から原田さん（時計屋さん）、矢沢さん（ガス屋さん）、大友さん（呉服屋さん）、知った方々に久しぶりに会うことができ、嬉しく懐かしい気持ちになりました。浪江町から名古屋に避難してきた人が三十数名居ると聞いていたので、久しぶりに交流することにができるのかなぁと思い参加しましたが、当日は浪江町から数名と大熊町からご夫婦の参加となりました。

現在の浪江町商店街会長の原田さんから、今の浪江町の様子や区域の見直しの説明、新しい賠償基準の説明資料、浪江町の除染の進め方、いろいろな話しを聞くことができました。個人の力は小さくても、皆で声を出していけば大きな力になる！これが大切!!! だという話しを



聞くことができました。私も日々、感じていたことなので、共感することができました。

今は、皆様の支援を受けながら穏やかな生活を送ることができていますが、ふるさとを忘れてはいけません。長い間、帰ることができなくなりましたが、私が住んでいた浪江町をいつか次の世代につないでいけるよう、声を出していくことの大切さを改めて感じることができました。

（大胡 晴美 中川区在住）

名古屋市での浪江町民交流会を開催して

11月10日、名古屋市にある「名古屋栄東急イン」を会場に、浪江町から避難をして、名古屋市近辺でお世話になっている、町民の皆さんとの交流会を開催致しました。

名古屋市は、福島県から遠く離れておりますので、中々町民の方々とのコンタクトが取りにくく、誰もおいでにならないのではと心配しておりましたが、愛知県被災者支援センターのスタッフはじめ、ボランティアの皆さんのご努力で、懐かしい町民の方々にお会いすることができました。

今回は特に、大熊町から避難されておられる方もおいでになり、久しぶりに浪江弁と言いますか、双葉地方の言葉で思い切り「しゃべり合う」ことができました。

お話をお聞きしますと、やはり年代で考え方にも、相当の開きがあるように感じました。お若い方は、割と小さい子どもと避難している場合が多く、たとえ浪江が戻れるようになっても「子どもに対する放射能の影響を心配して戻らない」と言いますし、ご高齢の方は、何とか故郷に戻りたいと言われます。本当に100人に聞けば、100通りの答えが返ってくるのが現状です。

浪江町は、原発の隣接町村だったために、事故の情報もなく皆バラバラに避難した結果、現在のように全国に散らばってしまいました。昨日まで

お隣同士挨拶を交わしていたのに、今は何時間もかけないと会うことができません。「もう元に戻ることはできないのか」と思うとき、やはりご高齢の方の胸に去来するのは故郷のことであり、子どもや孫のことなのでしょう。胸が締め付けられる思いです。

このような状況にもかかわらず、二度と浪江町のような悲劇を繰り返さない枠組み作りは、まだどこも作っていると聞いたことはありません。私達は、いわゆる「民」の立場から、いろいろと行政に提言をしておりますが、まだ方向が見えず、不安ばかりが募る人も多くなって来ております。

このような中で生活している私達ですが、支援センタースタッフをはじめ、皆様のように被災地に対して暖かいご支援を続けて居られたり、避難している人達に手厚いフォローをなさっておられる皆様が居られることが、どれほど私達の心の支えになっているか分かりません。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の交流会開催にしまして、早い時期からお骨折りいただきました皆様に、心より御礼申し上げます。本当に有難うございました。

(特定非営利活動法人 まちづくり NPO 新町なみえ 復興塾長 原田 雄一)

For Foreigner Got any questions about life in Aichi?

外国から来られた方への情報提供や相談の窓口を、それぞれの市町村などで設けています。今回、それらをまとめたものを同封しました。

また、あいち医療通訳システムにおける医療通訳サービス*も、今年2012年4月1日より始まっています。英語、日本語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン語(タガログ語)のチラシも同封させていただきました。

(<http://www.aichi-iryoku-tsu-yaku-system.com/> より情報を確認いただけます)

* 愛知県には現在約20万人の外国人県民が生活していますが、その多くの方が、医療を受ける際に言葉が通じないことへの不安を感じています。

このシステムの内容は、①医療通訳者の派遣【県内大学のご協力を得て養成した一定レベル以上の知識やスキルを持った通訳で、英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語に対応(フィリピン語も対応予定)】、②電話通訳【24時間365日対応で、①の5言語とハングルも可】、③紹介状等の翻訳業務、④多言語問診票などの外国人対応マニュアル【無料で利用可能】からなっています。

ご自身以外でも、まわりで困っている方がいらっしゃれば、ご案内いただきますようお願いいたします。

津島市避難者情報交換会

避難者情報交換会によせて

さる10月27日(土)に愛知県被災者支援センターの向井氏のご尽力により、津島市児童科学館の視聴覚室において、避難者家族との情報交換会を開催しました。

平成23年3月11日の東日本大震災により、当津島市へ避難された方が5世帯みえますが、避難者どうしの交流がほとんどできていない状況でした。その5世帯のうち、今回は福島県のいわき市からの避難者3世帯にはたらきかけ実施することになり、当日は向井氏のお力にて弁護士、司法書士、臨床心理士、また避難者の地元福島県名古屋事務所より職員の方及び、コープあいちに参加していただきました。津島市からは福祉課及び社会福祉協議会の職員が参加いたしました。

3世帯の方々には子ども同伴で参加していただきましたので、子どもたちのために社会福祉協議会より「おもちゃ図書館」等を開設していただき、子どもたちどうしで交流を深めてもらいました。

情報交換会に参加された3世帯は、どちらかの両親が津島市及び近郊に実家がある方ばかりでしたので、自分達は「避難者ではないのではないか?」との疑問があり、色々の支援に対しては消極的になっていたとの話がありました。交換会を進めることによりそのような疑問もだんだん解消されていくことがわかり、主催者としても交換会を開催して非常に良かったと思いました。

今後については避難者の方と連携をはかりながら、少しでも津島市として協力できることがあれば、実施していきたいと考えております。

(津島市役所 福祉課 半田 逸郎)



避難者情報交換会に参加して

うちと同じように、いわき市から津島市へ避難して来ているご家族がいらっしやると聞いて、是非お会いしてみたいと思い交換会に参加させて頂きました。

我が家は今年の5月に夫をいわき市に残し、私と子ども二人とで夫の実家のある津島市へ避難してきました。原発事故からの自主避難という事もあり、このような交流会には今まで参加した事がなかったのですが、「自主避難して来た方とお話ししてみたいな」とはいつも思っていました。

交換会では被災者支援センターの方から、避難者の現状や支援の取り組みを伺ったり、福島県名古屋事務所の方からは福島の今の様子をお聞きする事ができ、支援して下さっている皆さんとの距離が縮まったように思いました。何より、他の自主避難のご家族と、どうして避難して来たのかや、これからどうしようなど色々お話しできた事はとてもうれしかったです。実際にお会いできて、同じ市内にいらっしやると思うと、これからもとても心強い思いでいっぱいです。避難から一年半程が過ぎ、子どもたちも学校に慣れ、日々の生活は落ち着いて来ましたが、将来への不安はまだまだ尽きません。今回の交流会に参加して、とても前向きな気持ちになりました。企画して下さいました津島市の福祉課の皆さんありがとうございました。

(伊藤 和美 津島市在住)



「お茶っこサロンなごや」によるこそ！

「おはよう！」

「お久しぶり～」

「元気だった？」

という声で始まった、10月28日(日)の第3回「お茶っこサロンなごや」。

11世帯26名が参加。「岡田ちゃんがいる！」かわいい声で呼んでくれる、我が家では望めない私の「そとまご(笑)」がぞろぞろ。



お茶と名古屋銘菓を食べながらのおしゃべりが目的。「まけないぞう」作りのコーナーもあり、自由にひと時を過ごしても

らいました。

子どもたちは、同じフロアの別イベント「ぼらチャリ」でも、スタンプラリーやゲームを楽しんでいました。なごや防災ボラネットの、ストローハウス作りもなかなか好評でした。

男の子たちは、普段お母さんと一緒に時間が多いため、お父さん役がいた方が良かったかな？協力ボランティア7名のうち、男性陣はちょっと年齢が高いので(笑)、走り回るチビっ子ギャングを相手にするのはハードルが高い様でしたが、それなりに楽しんでいました。

0さんは、ご主人の体調が思わしくなく、一人で参加していただきましたが、同郷の方と語らってみえました。少しは気分が落ち着いたでしょうか？ Mさん、Sさんは、他のイベントで仲良しになっている様子で、この場所を待ち合わ



せのように使ってくれていました。前回初参加のKさんは、今回はボランティアとして会場準備等をしてくださいました。

この企画をきっかけに、名古屋に来ている方皆さんがお友達になっていただければ、嬉しいです。

今後も、毎月1回開催予定ですが、私たちは裏方となり、参加した方で企画までしていただけるといいな～と思っています。会場・日にちななど要望があれば、ぜひお申し出ください。(参加してくださる方とは反対に、お顔が見れない方も増えてきました。お元気にしているのでしょうか？声だけでも聴けると嬉しいです。お電話ください。)

〈次回以降の予定〉

○12月9日(日)10:00～12:00(名東区社会福祉協議会 / 地下鉄上社駅下車すぐ)

クリスマス飾り作りを行います。ジャンボ松ぼっくりでリースを、紙粘土で小物を作れるかも？

※有志で、オヤジの会(お父さんたちの飲み会)を不定期で行っています。11月は17日に行いました。興味のある方は、岡田(オヤジの会の母)までお申し出ください。

(東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや

スタッフ：岡田雅美)

(センター電話：070-5029-9270)

第6回 子育てつどいの広場 in 瑞穂区

日時：11月11日（日）10:30～14:00

場所：ボラみみより情報ステーション

主催：NPO法人 ボラみみより情報局

避難者参加者数：6世帯

（大人9名、子ども7名）

11月11日に、第6回子育てつどいの広場 in 瑞穂区に参加いたしました。開催場所が、まるで屋内型の広い公園のよう！いろいろな遊具があり、すべり台やトランポリンなどたくさん遊べて、子ども達も大変喜んでおりました！

お昼には美味しいお好み焼き。おやつ時にはポップコーンを（目の前で！）作ってくださったので、子ども大人も大喜びでいただきました。

そして始まるの10時半から終わりまでの間、スタッフの皆様がずう～っと子ども達と遊んで下さったので、大人は紅茶やコーヒーなど温かい飲み物をいただきながら、久しぶりにゆっくりと話を花を咲かす事ができました。本当にありがとうございました。

とても楽しい時間を過ごさせていただいた上に、お土産にお尻拭きや洋服・お菓子、今回はお米までいただいて… 本当にありがとうございます。とても感謝しております！

P.S. 『旅行に行きたい！』と思ってもなかなか行けない… という私達の話聞き、計画してくださった、来年3月の日帰り旅行。本当に



ありがとうございます！楽しみにしております！

（菅野 るみ子 中区在住）

〈お知らせ〉

- 1) 第7回は12月9日（日）に開催します。
- 2) 「赤いランドセル（新品）」ですが、まだ若干在庫があります。直接ご来所いただくか送料着払いでお渡しできます。必要な方はご連絡下さい。年齢制限はありません。
- 3) ボラみみより情報ステーションは、火曜・日曜・祝日をのぞく、月～土曜日の10時～16時に開設しています。冷暖房完備です。駐車場若干あり。通常、入会金が必要ですが、「あおぞら」をご持参いただければ、入会金不要です。12月末まで。

詳しくは、

ボラみみより情報ステーション

boramimist@yahoo.co.jp まで

〒467-0842

愛知県名古屋市瑞穂区妙音通 2-40

横山ビル 1 階

TEL：080-4228-5356（10時～16時）

FAX：052-811-1812

<http://locoplace.jp/t000095629/>

冊子「気持ちを手紙に」読者の声

愛知県被災者支援センター発行の冊子「気持ちを手紙に」は、愛知県内の図書館に献本いたしました。それを手に取った県民の方より、お手紙が届きましたのでご紹介します（ご本人の了解を得て掲載しています）。

3月11日福島第一原発事故が起こって1年半たちました。定年退職後の生活をのんびり送っているかたわら、福島の被災者の方々がどのように暮らされている？何にも知るすべもありませんでした。心の中では震災の事実の風化が進んでいました。

そんな時、偶然にも中川図書館で被災者支援センター編「気持ちを手紙に」を手にとらせていただきました。愛知県に680世帯1,650の方が避難されている事実が目が覚めました。遠く福島県の話だと思っていたのに、こんな近くに事故のため苦しんでいる家族がいる。驚きでした。今後ともネットで「あおぞら」ニュースを読ませていただきます。何もできませんが少なくとも現状を知る努力をします。

（伊藤）

あおぞら・情報掲示板

食品

/// 生活クラブ生活協同組合 ///

「安全・健康・環境」の原則に基づいて、生産者と組合員が協力して安全な食べものをつくり続けています。分かって食べることを基本にして、添加物や農薬、遺伝子組み換え食品の対策に加え、原発事故後は食品放射能測定器で徹底した検査を実施し、毎日ホームページで公開しています。

住所：名古屋市天白区一本松 1-101

電話：052-806-5871

URL：<http://aichi.seikatsuclub.coop/>

配達：名古屋市、尾張旭市、豊田市、豊橋市の配達センターから周辺地域

食品

/// 絆愛農流通センター ///

東北・関東の農産物は前向きに取り扱いを検討し、出荷前に放射能検査を行ってから出荷しています。有機農家の作った会社で生産から消費まで責任持ってお届けします。

生産者の原料を基に作った商品も多数ご用意しています。

配達エリア：愛知（東三河地区は除く）岐阜南部・三重北部

住所：名古屋市天白区井口 2 丁目 903

TEL：052-801-5643

URL：<http://www.ainou-c.co.jp/>

食品

/// 土ニヤしの会 ///

1987年に数人の仲間が始まった非営利の小さな共同購入会。愛知と岐阜の農家がそれぞれ有機栽培した野菜セットが基本です。スタッフが収穫作業を手伝い会員へ直接お届けしながら、刻々と変わる畑の様子や問題を発信しています。長い付き合いの無農薬米はじめ様々な無添加食品も、できるだけ近くの作り手の見えるものを食べていきたいと考えています。

配達：名古屋市内（一部地域を除く）

住所：名古屋市中区大須一丁目 23-14

TEL：052-211-1774

健康

/// 「リンパ整体&耳ツボ」の

兎ヶ路(トトロ)です!! ///

被災者の方に限り初診料なし!!

全身のリンパ整体 ¥3,500→¥2,500

耳ツボ ¥1,000

なお、耳ツボの御客様には、肩二りのツボ押しをサービスさせて頂きます。

その他、背骨の矯正や部分整体など、お気軽に問い合わせ下さい。

住所：一宮市富塚字東長葎 1-4

TEL：090-3959-5279（松山まで）

※何処でも出張OK!!（交通費別途）

お友達やグループでのお申し込み大歓迎!! \ (^o^) /

※ これらは、さまざまな方々から寄せられた情報を元に掲載しています。掲載された情報元にご確認のうえ、皆様の判断でご利用ください。

お食事

/// 農場レストラン花車 ///

デンパークの中にあるガーデンレストランです。

地元の豊かな食材をメインに、「安心・安全・健康・自然」をコンセプトにしているお店で、地元の豊かな食材をつかった自然料理が楽しめます。特産の安城和牛や国産豚など新鮮な肉や野菜メニューがたっぷり。

お料理はもちろんのこと、「地産地活」のサラダバーは種類が豊富で、とても美味しかったです。

子どもメニューや、子ども椅子もあり、店内も広々綺麗で子連れに嬉しいレストランです。

モーニング（10:00～11:00）ドリンクにお米パン付きランチメニュー（11:00～15:00）※全品農場サラダバー付き

午後のティータイム（14:30～17:00）

TEL：0566-92-5439

10:00～21:00（オーダーストップ 20:30）

公園開園時間（通常は 17:00）以降は、「東ゲート」から入場（入園料無料）

/// 安城産業文化公園デンパーク ///

〒446-0046 安城市赤松町榎 1

TEL：0566-92-7111

入場料・大人 600 円 小人 300 円

遊び場

/// 整膚を知っていますか? ///

避難中の方、料金はお安く。15分 500 円、30分 1000 円。丁寧!出張もあります。

●免疫カアップ、美肌、痩身 ●二り、痛み、むくみ、便秘改善など ★幼児・妊婦さん・お年寄りの方でも ◎要予約◎まずはご相談ください。

住所：尾張旭市瀬戸川町

TEL：080-1681-0944

e-mail：naokomatsumoooto@docomo.ne.jp

整膚師・整膚美容師 松本尚子（いわき市出身）

（前回、メールアドレスが間違っていたので、再掲です）

健康

あおぞら・情報掲示板



/// ふれあいひろば ///

コープのお店や集会所などで開催しており、高齢の方もたくさん参加しています。予約は不要ですので、気軽に参加してください。お茶やランチを楽しむひろばや歌やゲームを楽しむひろばもあり、地域の情報交換の場ともなっています。

項目	内容
ふれあいひろば名	ふれあいサロン桜並木
開催日時	毎月10日 午前10時～12時
会場	生協生活文化会館2階 ルーム I
住所	名古屋市千種区稲舟通1-39 (駐車場無) 地下鉄東山線 本山駅下車 4番出口を出て徒歩 2分
問い合わせ電話番号	052-781-6162(090-4182-6298 溝口)
担当者	溝口 弘子
利用料金	200円/1回 3ヶ月ごと食事つき5,000円
その他・主な企画など	家に閉じこもりがちな高齢者に来ていただき、歌を歌ったり折紙、料理、簡単な手作り品、おしゃべり等ボランティア(ほとんど高齢者)も一緒に楽しめます

項目	内容
ふれあいひろば名	いのこしサロン
開催日時	毎月第3火曜日 午前10時30分～12時
会場	元福祉サービス名東2階
住所	名古屋市名東区香南1丁目-403番地 (駐車場無)
問い合わせ電話番号	052-771-2193
担当者	安藤
利用料金	200円
その他・主な企画など	医療生協がバス旅行(11月)を企画し参加します。手作り、作品が中心です

項目	内容
ふれあいひろば名	なごみの会「ランチの日」
開催日時	毎月第4木曜日 午前11時30分～午後1時
会場	コープいぬやま ホール
住所	犬山市松本町4-74 (駐車場有) 名鉄犬山線 犬山駅下車 駅東口より東南へ徒歩 5分
問い合わせ電話番号	0568-61-6201 (コープいぬやま)
担当者	
利用料金	1食 380円
その他・主な企画など	コープいぬやまで取扱っている食材を使って、季節の料理を提供しています。

項目	内容
ふれあいひろば名	なんじゃもんじゃの会
開催日時	毎月第4水曜日 午前10時～12時
会場	コープいぬやま ホール
住所	犬山市松本町4-74 (駐車場有) 名鉄犬山線 犬山駅下車 駅東口より東南へ徒歩 5分
問い合わせ電話番号	0568-61-6201 (コープいぬやま)
担当者	谷口 とも子
利用料金	一人 100円
その他・主な企画など	簡単な手作りおやつを作って試食したり、簡単な手芸をしたりしながらおしゃべりを楽しんでいます。

項目	内容
ふれあいひろば名	美老の会
開催日時	毎月第4金曜日 午前10時～12時
会場	コープ高蔵寺ニュータウン 2階
住所	春日井市岩成台7-2 (駐車場有) JR中央線 高蔵寺駅下車 名鉄バス 藤山台東で下車 西へ徒歩 3分
問い合わせ電話番号	0568-91-2775
担当者	澤井 靖子
利用料金	100円(菓子代) 他に企画によっては材料費200円
前後必要なこともあり。	
その他・主な企画など	おしゃべり(その時話題になっていること) 簡単な手作業(絵手紙、ステンシル、折紙、手芸など) 勉強会(介護保険など) 施設見学 コンサート 料理を作って皆でランチしています。

項目	内容
ふれあいひろば名	おしゃべりサロンー社
開催日時	毎月第4金曜日 午後1時30分～4時
会場	コープ藤ヶ丘 2階会議室(西)
住所	名古屋市名東区明が丘52 (駐車場有) 地下鉄東山線 藤ヶ丘駅下車 西へ徒歩 5分
問い合わせ電話番号	052-701-7566
担当者	春日井 千鶴子
利用料金	200円(材料費、別途必要な回もあります)
その他・主な企画など	参加者で相談して行います。

項目	内容
ふれあいひろば名	ふれあいサロンくろかわ
開催日時	毎月第4土曜日 午前10時～12時
会場	コープくろかわ 2階会議室
住所	名古屋市北区駒止町2-18 (駐車場有) 地下鉄名城線 黒川駅下車 3番出口を出て西へ徒歩 5分
問い合わせ電話番号	052-991-3561 (コープくろかわ)
担当者	中野好子
利用料金	無料 食事づくりなどは材料費実費が必要
その他・主な企画など	映画鑑賞や食事づくりなどみんなで楽しく行います。

項目	内容
ふれあいひろば名	コープお茶の間サロンいづく茶屋
開催日時	毎週木曜日 午前10時～12時
会場	コープ小幡 1階店内
住所	名古屋市守山区小幡宮ノ腰5-40 (駐車場有) 名鉄瀬戸線 小幡駅下車徒歩10分
問い合わせ電話番号	052-794-2521 (コープ小幡店)
担当者	秋好 有美子
利用料金	無料
その他・主な企画など	年 3回お食事会をやっています。(参加料100円) 手作りで、生協の商品を使い食事を作ります。

◆ 応募方法

◎ メールまたはFAXにて

E-mail : aozora@aichi-shien.net FAX : 052-954-6993

◎ 文字数 : 1情報につき 200字以内

◎ 氏名・現住所・電話番号を明記してください。

(実名・匿名・ペンネームなど、掲載の表記希望をお知らせください)

※ 掲載時、こちらで編集したり、内容によっては掲載不可となる場合もあります。その他、相談させていただく場合があることを、ご承知おきください。

◆ 皆様からの情報をお待ちしています。

※ これらは、さまざまな方々から寄せられた情報を元に掲載しています。掲載された情報元にご確認のうえ、皆様の判断でご利用ください。



For foreigner
Got any questions about life in Aichi?
Please feel free to drop by call or email us anytime.

なごやこくさい じょうほう
☆ 名古屋国際センター 情報カウンター

English・português・español・中国・韓国(hangul)・filipino・ベトナム(tieng-viet)

なごやしなかむらくなごの なごやこくさい かい
名古屋市市中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル 3階

TEL : 052-581-0100 Email : info@nic-nagoya.or.jp

あいちけんこくさいこうりゆうきょうかい たぶんかきょうせい
☆ 愛知県国際交流協会 多文化共生センター

English・português・español・中国

なごやしなかくさんまる あいちけんさん まるちようしゃ かい
名古屋市中区三の丸 2-6-1 愛知県三の丸庁舎 1階

TEL : 052-961-7902 Email : sodan@aia.pref.aichi.jp

とよはしがいこくじんそうだん
☆ 豊橋市外国人相談

English・português・español

とよはしいまはしちょう
豊橋市今橋町 1

TEL : 0532-51-2007 Email : kyoseikokusai@city.toyohashi.lg.jp

おかざきし こくさいこうりゆう
☆ 岡崎市 りぶら国際交流センター

English・português・español・中国・filipino

おかざきしこうせいどおりにし
岡崎市康生通西 4-71

TEL : 0564-23-6480 Email : libralicc@city.okazaki.aichi.jp

いちのみやしこくさいこうりゆうきょうかい こくさいこうりゆう
☆ 一宮市国際交流協会 国際交流ウェルカムサロン

English・中国語・filipino

いちのみやしほんまち さんぼちや
一宮市本町 4-1-9 com-cafe 三八屋

TEL : 0586-84-0014 Email : iia-138@owari.ne.jp





とよたしこくさいこうりゅうきょうかい たげんごそうだんまどぐち
☆ 豊田市国際交流協会 多言語相談窓口

English・português・中国

とよたしこざかほんまち とよたさんぎょうぶんか
豊田市小坂本町 1-25 豊田産業文化センター

TEL : 0565-33-5931 Email : tia@hm.aitai.ne.jp

こまきし がいこくじんそうだん
☆ 小牧市外国人相談

English・português・español

こまきし ほり うち こまきしせいかつこうりゅうか
小牧市堀の内 1-1 小牧市生活交流課

TEL : 0568-76-1173

ほう あいち がいこくじんほうりつそうだん
☆ 法テラス愛知 外国人法律相談

English・português・español・中国・韓国(hangul)・filipino

なごやし なかくさかえ さかえ かい
名古屋市中区栄 4-1-8 栄サンシティビル15階

TEL : 050-3383-5460

ほう みかわ がいこくじん むりょうほうりつそうだん
☆ 法テラス三河 外国人のための無料法律相談

English・português・español・中国・filipino

おかざきしじゅうおうちょう おかざきしやくしょ にしちょうしゃ かい
岡崎市十王町 2-9 岡崎市役所 西庁舎 1階

TEL : 050-3383-5465

がいこくじんいりょう
☆ 外国人医療センター(MICA)

English・português・español

なごやし なかむらくめいえき にっしょう
名古屋市中村区名駅 2-11-43 日商ビル NPO station

TEL : 052-588-7040 Email : mica@r6.dion.ne.jp



Starting from April 1st, 2012

Medical Interpretation Service will be started In Aichi Medical Interpretation System

~English, Chinese, Portuguese, Spanish~ * Taglish is schedule to be provided as well

In Aichi Medical Interpretation System Promotion Association, in order to make improvement for the medical environment of the foreign people, medical interpreting service, which is called "Aichi Medical Interpretation System", is provided in medical institutions within the prefecture etc. from April 1st, 2012. There are some precautions below needed to be aware of.

【Precaution】

- ◆ There are medical institutions where the service is available and in those where the service is not available.

~Please check the following Home page or at the operation office~

- ◆ We will dispatch interpreters according to the request of the medical institutions. ~We do not accept the request directly from the patient~
- ◆ For the interpretation service charges, as a general rule, one-half of prices will be charged to both medical institutions etc. and patients.

~For interpreter dispatch service, patients will be charged 1,500 yen or 2,500 yen depending on the content~



【Inquiry for the use of service】

- ◆ TEL. Aichi Medical Interpretation System Operation Office 050-5814-7263
(Weekday 9am~5:30pm)

- ◆ HP <http://www.aichi-iryuu-tsuyaku-system.com>

【Contents of the service (It will be determined by the medical institutions as necessary)】

- Interpreter dispatch service By the request from the medical institutions, medical interpreters who have the knowledge and the skill at a certain level will be dispatched according to the course.

A course Interpreter dispatch service for daily medical examination 3,000 yen/2hours

B course High leveled interpreter dispatch service such as informed consent etc. 5,000 yen/2hours

C course Punctual interpreter dispatch service for particular day, time etc. 5,000 yen/2hours

*In case if it exceeds 2 hours, one-half of price will be charged for each extra hour.

- Telephone interpretation We will support you immediately for the first medical examination, during an emergency, night time, etc. (Korean is also available).

- Written Translation We provide written translation of medical referral form to medical institutions.

Aichi Medical Interpretation System Promotion Association

(Established by Aichi Medical Association, Aichi Hospital Association, Aichi Dental Association, The Aichi pharmaceutical Association, Aichi Nursing Association, Aichi Prefectural university, Aichi University, Nagoya University of Foreign Studies, Nagoya Gakuin University,

Aichi Prefectural Government, and every municipality in the prefecture in February, 2012)

平成 24 年 4 月 1 日～

あいち医療通訳システムにおける 医療通訳サービスを始めます

～英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語～ *タガログ語も追加予定

あいち医療通訳システム推進協議会では、外国人の医療環境向上のため、平成24年4月1日から、県内医療機関等に医療通訳サービスを提供する「あいち医療通訳システム」の運用を開始します。以下の注意点をご確認のうえ、ご利用ください。

【注意点】

- ◆ 利用できる医療機関と利用できない医療機関があります。
～以下のHPか運営事務局でご確認ください～
- ◆ 医療機関からの依頼により通訳者の派遣等を行います。
～患者からの依頼はできません～
- ◆ 利用料は、原則、医療機関等と患者で2分の1ずつ負担していただきます。
～通訳派遣の場合、患者負担は内容により2時間で1,500円か2,500円となります～



【ご利用についてのお問い合わせ】

- ◆ 電話 あいち医療通訳システム運営事務局 050-5814-7263
(平日 午前9時～午後5時30分)
- ◆ HP <http://www.aichi-iryuu-tsuuyaku-system.com>

[あいち医療通訳システム](#) [検索](#)

【サービス内容(医療機関が必要に応じて判断します。)]

- ・通訳派遣 医療機関からの依頼により、一定のレベル以上の知識・スキルを持った医療通訳者をコースに応じて派遣します。
 - Aコース 日常的な診療・検査に対応する通訳派遣 3,000 円/2 時間
 - Bコース インフォームド・コンセントなど高度な通訳派遣 5,000 円/2 時間
 - Cコース 特定の曜日・時間帯など定時の通訳派遣 5,000 円/2 時間

* 2 時間を超えた場合は、1 時間毎に 2 分の 1 を加算します。
- ・電話通訳 初診時や緊急時、夜間等にもすぐに対応できます(ハングルも可)。
- ・文書翻訳 医療機関への紹介状等の翻訳を行います。

あいち医療通訳システム推進協議会

((社)愛知県医師会、(社)愛知県病院協会、(社)愛知県歯科医師会、(社)愛知県薬剤師会、(社)愛知県看護協会、愛知県立大学、愛知大学、名古屋外国語大学、名古屋学院大学、愛知県、県内全市町村で平成 24 年 2 月に設立)

A partir de 1º. De abril de 2012.

COMEÇA O SERVIÇO DE TRADUÇÃO MÉDICA

oferecido pelo Sistema de Tradução Médica de Aichi
Serviços de tradução em Inglês, Chinês, Português e Espanhol

* Previsão de adicionar também a língua Tagalog

A partir de 1º. de abril de 2012, iniciará o serviço de tradução para os assuntos relacionados a tratamento médico, oferecido pelo Sistema de Tradução Médica de Aichi. Este serviço poderá ser usado pelas entidades médico-hospitalares dentro do estado. O serviço é oferecido pelo conselho que promove o Sistema de Tradução Médica de Aichi com o propósito de melhorar a conjuntura do sistema médico aos residentes estrangeiros do estado de Aichi.

Pedimos para verificar atentamente as observações descritas abaixo, ao solicitar o serviço.

【Observações】

- ◆ O serviço está disponível em algumas entidades médicas e em outras não.
~verificar na página da internet ou contactar com os nossos escritórios~
- ◆ A contratação do intérprete deverá ser feita pela entidade médica
~O paciente não poderá solicitar o serviço~
- ◆ Basicamente, a entidade médica solicitante pagará a metade dos custos referentes ao serviço. A outra metade, será custeada pelo paciente. ~A depender do conteúdo da interpretação, no caso de contratação de intérpretes os custos deverão variar entre 1.500 a 2.500 yenes por 2 horas.~



【Informações referentes ao uso do serviço】

- ◆ Telefone de contato do escritório do Sistema de Tradução Médica de Aichi 050-5814-7263
(De segunda às sextas-feiras das 09:00 às 17:30hs)
- ◆ Página da internet: <http://www.aichi-iryoku-tsu-yaku-system.com>

【Conteúdo do serviço (A necessidade do serviço será definida pela instituição médica)】

Contratação de intérprete: A contratação do intérprete de nível irá depender da solicitação da instituição médica de acordo com o conteúdo do tratamento.

Conteúdo A: Interpretação de casos comuns em consultas ou exames médicos 3,000 yenes/por 2 horas.

Conteúdo B: Interpretação de conteúdos específicos ou assinatura de termos de concordância para tratamento médico 5,000yenes/por 2 horas.

Conteúdo C: Intérpretes marcados com dias e horários específicos etc. 5,000yenes/por 2 horas.

* No caso de ultrapassar as 2 horas previstas, para cada hora excedente, será adicionado a metade do valor estipulado.

- Interpretações por telefone: Na primeira consulta, casos de emergências ou solicitações à noite, poderão ser atendidas imediatamente. (atendemos também em coreano)
- Tradução de documentos: Traduzimos também cartas de apresentação para outras entidades hospitalares

Conselho Promotor do Sistema de Tradução Médica de Aichi

Associação Médica do Estado de Aichi, Associação dos Hospitais do Estado de Aichi, Associação dos Dentistas do Estado de Aichi, Associação dos Farmacêuticos do Estado de Aichi, Associação dos Enfermeiros do Estado de Aichi, Universidades Estaduais de Aichi, Universidade de Aichi, Universidade de Estudos Estrangeiros de Nagoya, Instituto Universitário de Nagoya, Em acordo constituído em fevereiro de 2012 por todas as cidades e municípios do Estado de Aichi.

2012年4月1日～

关于爱知医疗口译系统的 医疗口译服务开始了

～英语、中国语、葡萄牙语、西班牙语～ *预定追加塔加路语

在爱知医疗口译系统推进协会，为了改善提高外国人的医疗环境，从2012年4月1日开始，针对县内医疗机构等引入了医疗口译服务。我们称它为「爱知医疗口译系统」。请事先进行确认后再使用本项服务。

【注意点】

- ◆ 有可以使用的医疗机构和不可以使用的医疗机构。

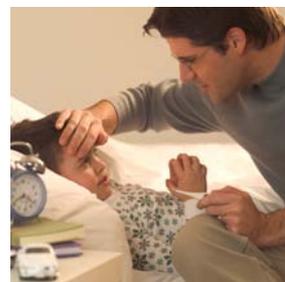
～请在以下网页或到营运事务局进行确认～

- ◆ 接受来自医疗机构的委托后，进行口译者的派遣等。

～来自患者的委托不可～

- ◆ 使用费、原则上是医疗机构和患者各承担一半。

～关于口译派遣，产生的费用根据内容不同有2小时1,500日元或2小时2,500日元～



【具体关于服务使用的咨询】

- ◆ 电话 爱知医疗口译系统营运事务局 050-5814-7263

(平日 上午9点～下午5点30分)

- ◆ 网页 <http://www.aichi-iryoku-tsuyaku-system.com>

あいち医療通訳システム

【服务内容(医疗机构按照需求进行判断。)]

- ・口译派遣 通过来自医疗机构的委托，按照难度等级会派遣有一定水平以上知识・技能的医疗口译者。

A等级 日常的诊疗・检查的口译派遣 3,000 日元/2 小时

B等级 知情・同意等高难度的口译派遣 5,000 日元/2 小时

C等级 特定的星期・时间段等定时的口译派遣 5,000 日元/2 小时

* 如超过2小时、每1小时加2分之1。

- ・电话派遣 初诊时或紧急时，在夜间等时间也可以立刻对应（韩语也可以）。

- ・文件翻译 开给医疗机构的介绍信等的翻译。

爱知医疗口译系统推进

((社)爱知县医师会，(社)爱知县医院协会，(社)爱知县牙科医师会，(社)爱知县药剂师会，(社)爱知县护理协会，爱知县立大学，爱知大学，名古屋外国语大学，名古屋学院大学，爱知县，在县内全市町村2012年2月成立)

A partir del 1 de Abril de 2012

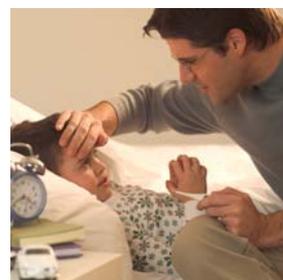
COMO PARTE DEL SISTEMA DE INTERPRETACIÓN MÉDICA DE AICHI
**INICIAREMOS EL SERVICIO DE
INTERPRETACIÓN MÉDICA**

~Inglés, Chino, Portugués, Español~ * Próximamente Tagalog

El Consejo de Impulso del Sistema de Interpretación Médica de Aichi, para mejorar la situación de la medicina para extranjeros, dará inicio a su sistema en diversas instituciones médicas de la prefectura. Tome en cuenta las siguientes precauciones al hacer uso del servicio.

【Precauciones】

- ◆ Hay instituciones en las que no se brinda el servicio.
~Consulte en la página web o en nuestras oficinas~
- ◆ Se enviará a un intérprete a solicitud de la institución médica.
~No se aceptan solicitudes directas del paciente~
- ◆ Como regla general, el paciente deberá pagar la mitad del costo del servicio.
~En caso de que se envíe a un intérprete, la cantidad a pagar será de 1,500 ó 2500 yenes~



【Consultas con respecto al servicio】

- ◆ Oficina de operación del Servicio de Interpretación Médica de Aichi 050-5814-7263
(Lunes a Viernes de 9:00 am a 5:00 pm)
- ◆ Web <http://www.aichi-iryoku-tsuyaku-system.com>

【Tipos de servicio (La institución médica lo elegirá)】

• Envío de intérprete. Se determinará el nivel del intérprete a enviar de acuerdo a lo que la institución médica requiera.

A: Consultas y exámenes comunes	3,000 yenes (2 horas)
B: Interpretación avanzada (Consentimiento informado, etc)	5,000 yenes (2 horas)
C Envío de intérprete en hora y fecha específicos.	5,000 yenes (2 horas)

* En caso de exceder 2 horas, el costo es la mitad de la tarifa por cada hora adicional

• Interpretación telefónica En primeras citas, emergencias y horario nocturno (Coreano también disponible)

• Traducción de textos Tales como referencias a otros hospitales, etc.

CONSEJO DE IMPULSO DEL SISTEMA DE INTERPRETACIÓN MÉDICA DE AICHI

Asociación de Médicos de la Prefectura Aichi, Asociación de Hospitales de la Prefectura de Aichi, Asociación de Dentistas de la Prefectura de Aichi, Asociación de Farmacéuticos de la Prefectura de Aichi, Asociación de Enfermeras de la Prefectura de Aichi, Universidad Prefectural de Aichi, Universidad de Aichi, Universidad de Idiomas Extranjeros de Nagoya, Instituto Universitario de Aichi, Gobierno de la Prefectura de Aichi. Establecido en Febrero de 2012 en todas las ciudades de la prefectura.

Simula Abril 1.2012~

Ang sistema ng Aichi medikal interpreter ay

Mag sisimula ng serbisyong Medikal Interpreter

~INGLES, INTSIK, PORTUGES, ESPANYOL~ * Planong idagdag ang TAGALOG

Sisimulan ng Promosyon Council ng Sistemang Aichi Medikal Interpreter ang serbisyong 「sistemang Aichi Medikal Interpreter」 mula sa abril 1,2012, upang mapabuti ang medikal na kapaligiran ng mga taga ibang bansa ayon sa mga medikal institusyon ng prefektyur. Ikumpirma ang mga tala sa ibaba at mangyaring gamitin ito.



【Mga Tala】

- ◆ May pwedeng gamitin na Medikal institusyon at May Medikal institusyon na hindi pwedeng gamitin.
~Mangyaring suriin sa HP o opisinang pamamahala~
- ◆ Nagpapadala kami ng mga interpreter ayon sa kahilingan ng medikal na institusyon.
~ Hindi pwede sa kahilingan ng pasyente ~
- ◆ Ayon sa patakaran, ang pansariling bayaran ay i-isa't kalahati sa bawat pasyente at medikal institusyon.
~kung magpapadala ng interpreter, ang babayaran ng pasyente ay 1,500yen o 2,500yen sa 2 oras ayon sa mga nilalaman ~

【Makipag-ugnay tungkol sa paggamit】

- ◆ Telepono Opisina ng Sistema Aichi Medikal Interpreter 050-5814-7263 (Karaniwang araw 9:00am~5:30pm)
- ◆ HP <http://www.aichi-iryoku-tsuyaku-system.com> Sistemang aichi medikal interpreter **Hanapin** 

【Nilalaman ng serbisyo (Magdedesisyon ang medikal na institusyon kung kinakailangan)】

• Pagpapadala interpreter nagpapadala kami ng interpreter na may malawak na kaalaman at kasanayan tungkol sa mediko ayon sa kahilingan ng medikal na institusyon.

A Kung magpapadala ng interpreter para sa pang araw-araw o regular na medikal na eksaminasyon o pagsusuri 3,000YEN/2oras

B Kung magpapadala ng interpreter para sa mataas na antas ng kaalamang pahintulot 5,000YEN/2 oras

C Kung magpapadala ng interpreter sa partikular na araw at partikular na oras 5,000Yen/2 oras

※Kung lumampas ng 2 oras, ang bawat isang oras ay magdadagdag ng kalahati ng presyo.

- Interprete sa Telepono Sumusuporta ng unang tsek up, emerhensiya o kahit hating gabi (posible ang koreano)
- Translate sa papeles gumaganap ng translation ng mga sulat ng pagpapakilala ng medikal institusyon

Promosyon Council ng Sistemang Aichi Medikal Interpreter

Pinunda noong Pebrero 2012 ng (Doktor Asosasyon ng Aichi prefektyur, Ospital Asosasyon ng Aichi Prefektyur, Destisterya Asosasyon ng Aichi Prefektyur, Parmasya Asosasyon ng Aichi Prefektyur, Nars Asosasyon ng Aichi prefektyur, Unibersidad ng Aichi Prefektyur, Unibersidad ng Aichi, Aralan wikang dayuhan Unibersidad ng Nagoya, Institusyon Universidad ng Nagoya, Aichi prefektyur at Mga Munisipal o Baranggay sa loob ng Prefektyur.